

令和7年度 国語科 精選国語

1 科目について

単位数	3 単位	学科・学年	2 年次
教科書	論理国語(大修館書店) 文学国語(数研出版)	副教材等	新訂 国語図説〔六訂版〕(京都書房) 未来をひらく常用漢字漢字検定5級～2級(桐原書店) 読み解くための現代文単語(文栄堂)【B組のみ】

2 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	【観点の到達目標】 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。	【観点の到達目標】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ①国語教養について 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	【イチカシ学カスタンダード】 ①グループワークについて さまざまなグループワークを経験し、課題解決に向けて最適な手法を選択できる力を養う。 ②プレゼンテーションについて 感情的にならず、自分とは異なる考えであっても、享受し、多角的視野を持つことの大切さを知る力を養う。	【イチカシ学カスタンダード】 ①「深く学びたい」という気持ちにする動機づけ 一つの事物に対し、国語という教科を起点にして、人文・自然科学といった分野の境界を越え、多方向から見つめることで、生徒たちの探究心を育てていく。
【評価の方法】 ・漢字テスト ・定期考査	【評価の方法】 ・定期考査 ・授業プリント ・ノート	【評価の方法】 ・ノート ・授業プリント

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	対話の精神	【知・技】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主】学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。	・ノート ・振り返りシート ・スライド課題 ・漢字小テスト
5 6 7	山月記	【知・技】言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思・判・表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【主】人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	・ノート ・振り返りシート ・スライド課題 ・期末考査 ・漢字小テスト
9	家族化するペット	【知・技】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 【主】学習課題に沿って、統計資料と本文との関係に着目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	・ノート ・振り返りシート ・スライド課題 ・漢字小テスト
9 10 11 12	こころ	【知・技】人間・社会・自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思・判・表】「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【主】作品の主題を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	・ノート ・振り返りシート ・スライド課題 ・期末考査 ・漢字小テスト
1	方言コスプレ	【知・技】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 【主】学習課題に沿って、方言に関する具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	・ノート ・振り返りシート ・スライド課題 ・漢字小テスト
1 2	スキーマと記憶	【知・技】本文において主張に当たる情報とそれを裏づける情報とを明確に区別している。 【思・判・表】「読むこと」において、本文の構成における具体例の役割についての確に理解している。 【主】本文の内容に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。	・ノート ・振り返りシート ・スライド課題 ・漢字小テスト
2 3	永訣の朝	【知・技】言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思・判・表】「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【主】宮澤賢治の妹への心情や兄妹のつながりを粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	・ノート ・振り返りシート (プリント) ・スライド課題 ・学年末考査

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

知識を得るだけではなく、「得た知識を違う分野に生かすためにはどうすればよいか」という観点を持ちながら授業に臨んでもらいたい。自分の意見を持つことはもちろん大切であるが、同様にクラスメートがどのように考えているのかということにも耳を傾け、物事のとりえ方・考え方は一つではないということにも気づいてほしい。「授業を受ける」のではなく「授業をクラス全員で作ります」ものだととらえ、積極的に参加しよう。

また、ノートは黒板に書いてあるものを写すだけではなく、教員が話したことやクラスメートの発言をメモしたり、自分で調べたことを書いたりするなど工夫して自分だけのノートを作ろう。

令和7年度 公民科 公共

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	2年次
教科書	公共 (第一学習社)	副教材等	

2 科目の目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	【観点の到達目標】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	【観点の到達目標】 よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・新しい言葉を習得し、日常生活の中で使うことができる。 資料を読み取るだけでなく、自ら資料をまとめ、他者に説明できるようにする。	【イチカシ学カスタンダード】 ・グループワークを通して課題を構想し、自分なりの解決方法を説明することができる。	【イチカシ学カスタンダード】 他者の意見も尊重しながら考えを聞くことができ、自らの意見を形成することができる。
【評価の方法】 ・定期考査 ・小テスト ・授業プリント など	【評価の方法】 ・資料作成 ・授業内での記述、発表等 ・定期考査 など	【評価の方法】 ・振り返りシート ・課題 ・提出物 など

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	公共的な空間における人間としてのあり方生き方	【知・技】 公共的な空間において社会に参画する自立した主体となるために、青年期を生きる私たちは、何を考え行動すればよいかを理解している。 【思・判・表】 生涯にわたって学習していくことの意義を考えることができる。選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し、環境保護や生命倫理など実社会の問題を考えることができる。 【主】 社会に参画する自立した主体とは、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働によって国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶことができる。	ペーパーテスト レポート 製作物

5	公共的な空間における基本的原理	【知・技】古今東西の先人の取り組み, 知恵などを踏まえ, 公共的な空間における基本的原理を理解している。 【思・判・表】選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し, 環境保護や生命倫理など実社会の問題を考えることができる。 【主】人権保障のあゆみや世界の政治体制, 日本国憲法などを通して, 公共的な空間における基本的原理が, 現代社会でどのような形で生かされているかを追究することができる。	ペーパーテスト レポート 製作物
6	法的な主体となる私たち	【知・技】法やルールを定める時にはどのようなことに配慮する必要があるかを理解している。 【思・判・表】身のまわりの偏見や差別・不平等, 自由権が保障されていない問題について理解し, その解決策を考えることができる。 【主】安全で豊かに生き, 法をよりよいものにするための権利や, それを実現するための法・規範について意欲的に学ぼうとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
7	司法参加の意義	【知・技】個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するために必要なしくみと, 国民が果たすべき責任を理解している。 【思・判・表】なぜ裁判所が必要なのかを司法権の独立や裁判所のしくみ, 最高裁判所の違憲審査権から考えることができる。 【主】司法参加の意義について意欲的に取り組もうとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
9	政治的な主体となる私たち	【知・技】選挙の意義や課題, 世論の形成や政党の役割を理解している。主権者である国民と国会・内閣の関係を理解している。 【思・判・表】地域社会の課題に, 私たちの意思を反映させるにはどうすればよいかを考えることができる。 【主】民主政治を推進するために, 私たちが果たすべき責任について理解し追究しようとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
10	国際社会と国家主権	【知・技】主権国家が並び立つ国際社会は, どのように成り立っているのかを理解する。日本国憲法の平和主義の下, 私たちが果たすべき責任を理解する。 【思・判・表】領土問題の背景と現状について考察することができる。軍縮に向けて国際社会や私たちには何が必要かを考える。 【主】国境や領土をめぐる諸課題についての解決方法を主体的に考え取り組んでいる。日本の安全保障体制の変容とその背景にある国際社会の変化を意欲的に学んでいる。	ペーパーテスト レポート 製作物
11	雇用と労働問題	【知・技】労働者を守るための法や権利を理解している。経済の基本的なしくみを理解している。 【思・判・表】少子高齢化による労働力不足が問題となる中, 活発な経済活動と労働者の働きやすさとともに成り立たせるために必要なことは何か考えることができる。 【主】グローバル化・情報化・少子高齢化が進む現代社会において, 将来の働き方をどのように考えていけばよいか意欲的に学ぼうとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
12	市場経済の機能と限界	【知・技】公正で自由な経済活動を通して, 市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解している。経済における政府の関わり方や市場における需要と供給の関係について理解している。 【思・判・表】国民所得や景気変動を理解し, 私たちが豊かに暮らすための指標について考えることができる。 【主】市場の失敗の例の一つである公害など身近な問題についても意欲的に取り組むことができる。	ペーパーテスト レポート 製作物
1	財政の役割と社会保障	【知・技】財政や社会保障の意義やしくみについて理解している。 【思・判・表】少子高齢化が進む中で, 財政や社会保障を持続可能なものにするために, 政府はどのような役割を果たしていくべきなのかを考えることができる。 【主】日本の財政の課題について意欲的に取り組むことができる。	ペーパーテスト レポート 製作物
2	経済のグローバル化	【知・技】自由貿易と保護貿易の違いについて考え, 自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割を理解している。外国為替相場の変動がおよぼす影響やその要因について理解している。 【思・判・表】経済がグローバル化の中で, 貧困や格差などの問題を乗り越え, すべての人が幸福に暮らすために, 国際社会や私たちがどうあるべきかを考えることができる。 【主】経済のグローバル化が日本経済にどのような影響をおよぼしているか理解し追究しようとしている。	ペーパーテスト レポート 製作物
3	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	【知・技】地球環境問題や資源・エネルギー問題について理解している。 【思・判・表】地域の創造, よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成について考えることができる。 【主】現代の諸課題を探究する活動を意欲的に行っている。	ペーパーテスト レポート 製作物

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

古代ギリシアの哲学者アリストテレスが『人は社会的動物である』と言ったように、人は社会を作ることによって外敵から身を守り、効率的に生産物を作り、繁栄してきました。社会の一員となるにあたって、様々なものの見方、考え方を身に付け、諸問題について協力して解決方法を考察、構想していく自覚を持たなければなりません。まだ実感の沸かない話も多いかと思いますが、想像力を働かせ、自分の将来の生活をイメージしながら、周囲と協力することでより良い人生を送れるように学習に取り組んで下さい。

令和7年度 地理歴史科 歴史総合

1 科目について

単位数	3 単位	学科・学年	2年次
教科書	高等学校 歴史総合（第一学習者）	副教材等	歴史総合ノート

2 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成を目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	【観点の到達目標】 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	【観点の到達目標】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める
【イチカシ学カスタンダード】 ・基礎的・基本的事項の確実な習得 ・資料の収集・読み取り・まとめを確実に行える力	【イチカシ学カスタンダード】 ・概念等を活用して多面的・多角的に考察する力 ・考察・構想したことを、効果的に説明・議論する力	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に学習に取り組む ・主体的な課題の発見・解決 ・自らの学び方も学ぶ
【評価の方法】 ・中間及び期末考査 ・授業での製作物、単元レベルでのレポート、その他パフォーマンス評価	【評価の方法】 ・中間及び期末考査 ・授業での製作物、単元レベルでのレポート、その他パフォーマンス評価	【評価の方法】 ・振り返りシートにおける記述 ・グーグルスライド等での毎時間の取り組み

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月	歴史の扉	【知・技】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 【思・判・表】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、上の知識及び技能観点で取り上げる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート

		察し、表現している。 【主】近代に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	
4月 5月	近代化への問い 結び付く世界と 日本の開国	【知・技】18 世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18 世紀のアジアの経済と社会を理解している。 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解している。 【思・判・表】18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】結び付く世界と日本の開国に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート
6月 7月	国民国家と明治 維新 近代化と現代的 な諸課題	【知・技】18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 【思・判・表】国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】国民国家と明治維新に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート
9月 10月 11月	国際秩序の変化 や大衆化への問い 第一次世界大 戦と大衆社会	【知・技】第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 【思・判・表】第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し表現している。 【主】国際秩序の変化や大衆化・第一次世界大戦と大衆社会に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート
11月 12月	経済危機と第二 次世界大戦 国際秩序の変化 や大衆化と現代的 な諸課題	【知・技】世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。 第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 【思・判・表】経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】経済危機と第二次世界大戦に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート
1月 2月	グローバル化への問い 冷戦と世界経済	【知・技】脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 【思・判・表】地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】グローバル化への問い・冷戦と世界経済に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート
2月 3月	世界秩序の変容 と日本	【知・技】石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。 【思・判・表】アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート

		【主】世界秩序の変容と日本に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	
3月	現代的な諸課題の形成と展望	【知・技】歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解している。 【思・判・表】事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主】現代的な諸課題の形成と展望について、見通しを持って課題に取り組もうとし、自身の問いと関連付けて追究しようとしている。	ペーパーテスト パフォーマンス 評価 振り返りシート

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

「歴史総合」では、近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら歴史の学び方を習得することを目指します。

また、私たちが良く耳にする「近代化」、「国際秩序の変化や大衆化」、「グローバル化」といったキーワードを、近現代の歴史の大きな変化をみる視点とし、現代の社会の基本的な構造がどのような歴史的な変化の中で形成されてきたのか?を探究していきます。1年間楽しく学習しましょう。

令和 7 年度 数学科 数学 A

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	スポーツ科学科 2年次 自由選択
教科書	最新 数学 A(数研出版)	副教材等	3ROUND 数学 A(数研出版)

2 科目の目標

図形の性質, 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と人間の活動の関係について認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・図形の性質, 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ・事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	【観点の到達目標】 ・図形の構成要素間の関係などに着目し, 図形の性質を見だし, 論理的に考察する力, 不確実な事象に着目し, 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力, 数学と人間の活動との関わりに着目し, 事象に数学の構造を見だし, 数理的に考察する力を身に付けている。	【観点の到達目標】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善しようとしている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・数学 A における基本的な概念や原理、法則を理解する。 ・確率や整数の性質で基本的な計算を用いて、解を求めることができる。 ・図形の性質を用いて、長さや角度など求められる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・確率や場合の数、図形の性質においてどの法則や性質が用いられているのか、考察する力	【イチカシ学カスタンダード】 ・積極的に授業に臨む姿勢 ・間違った問題などなぜ間違ったのか考える姿勢
【評価の方法】 ・定期考査 ・復習問題演習取組状況 ・小テスト	【評価の方法】 ・定期考査 ・復習問題演習取組状況 ・小テスト	【評価の方法】 ・演習ノートの取り組み内容 ・発表の発言内容 ・科目に取り組む姿勢 ・授業内小テスト など

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	第1章 場合の数と確率	【知・技】 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解すること。 ・具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めること。 ・独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めること	3の【評価の方法】 に準ずる
5		・条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めること。 【思・判・表】 ・事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察すること。	
6		・確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。 ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすること。	
7		【主】 ・事象を場合の数と確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	
9	第2章 図形の性質	【知・技】 ・三角形に関する基本的な性質について理解すること。 ・円に関する基本的な性質について理解すること。 ・空間図形に関する基本的な性質について理解すること。	3の【評価の方法】 に準ずる
10		【思・判・表】 ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすること。	
11		・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察すること	
12		【主】 ・事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	
1	第3章 数学と人間の活動	【知・技】 ・数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解すること。 ・数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深めること。	3の【評価の方法】 に準ずる
2		【思・判・表】 ・数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察すること。 ・パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察すること	
3		【主】 ・事象を数学と人間の活動の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・学習内容全般において数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図りますが、その内容が数学Ⅱや数学Ⅲなどに継続していく大切な教科です。
- ・数学的な見方や考え方のよさについては、日常生活の中でも実感することができます。問題解決等に当たって、問題を数学の対象としてとらえ具体的な手順などを考えることや、数学的な計算や処理ができることが数学の理解を深めることになります。
- ・数学という教科は単に計算が得意であれば良いというものではなく、物事を筋道立てて考えるということがとても大切です。その考え方が他の教科や社会一般の中で役立つこともたくさんありますので日々の学習を大切にしてください。
- ・授業開始時には、教科書・ノート・問題集を準備し着席完了しておいてください。
- ・欠席した場合は、その分のノートを級友から借りるなどして次の時間までに学習しておいてください。
- ・授業で学習した内容について副教材(問題集)を積極的に利用し、演習を重ねておくことが大切です。
- ・提出物等の期限は厳守をお願いします。内容もしっかり行ってください。

令和7年度 理科 生物基礎

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	普通科・1 年次 スポーツ科学科・2年次
教科書	高等学校生物基礎(第一学習社)	副教材等	標準セミナー生物基礎 (第一学習社)

2 科目の目標

生物や生物現象に関わり,理科の見方・考え方を働かせ,見通しをもって観察,実験を行うことなどを通して,生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 日常生活や社会との関連を図りながら,生物や生物現象について理解するとともに,科学的に探究するために必要な観察,実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	【観点の到達目標】 自然の事物・現象の中に問題を見だし,見通しをもって観察,実験などを行い,科学的に探究する力を身に付けている。	【観点の到達目標】 自然の事物・現象に主体的に関わり,科学的に探究しようとする態度を身に付けている。
【イチカシ学カスタンダード】 生物の多様性について理解する。 生命活動とエネルギーの関係を理解する。 遺伝子、DNA、染色体、タンパク質の関係を理解する。 恒常性と体液、生体防御について理解する。 植生、バイオーム、生態系の構成について理解する。	【イチカシ学カスタンダード】 身近な材料で顕微鏡観察、DNA 抽出を行い、生物の共通性を確認する。 カタラーゼを用いて、触媒作用を確認する。 タマネギ根端やだ腺染色体を観察し、細胞分裂や細胞周期、転写や翻訳について確認する。 映像教材を用いて、恒常性、生体防御、生態系について確認する。	【イチカシ学カスタンダード】 生物基礎の各分野において、授業に集中して取り組み、テーマごとの課題解決を目指す。 観察、実験、レポート、ノート作成を通して、知識を整理する。 疑問に思ったことは質問するなど、演習を反復することで理解を深める。
【評価の方法】 小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度	【評価の方法】 小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度	【【評価の方法】 小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	第1章 生物の特徴 1. 生物の共通性 ①生物の多様性と共通性 観察1 ささまざまな生物を観察して共通する特徴を探そう 実験1 DNAの抽出 ②生物の共通性の由来 資料1 脊椎動物を例に生物が共通する特徴をもつ理由を考えよう	【知】地球上のさまざまな環境には、多種多様な生物が生息しており、生物は多様であることを理解する。 【知・思・主】藻類、菌類、細菌の観察結果から、すべての生物のからだは細胞からなることを見だし、生物が共通にもつ特徴を理解する。 【知】身近な材料を用いて、DNAを抽出し、DNAをもつことが生物に共通してみられる特徴であることを確認する。 【知・思・主】脊椎動物の系統樹から、生物に共通してみられる特徴は、進化の過程で共通祖先から受け継がれてきたものであると考察できる。 【知・思】共通の祖先が長い年月の間に変化して、生物が多様化したことを理解する。 【知】原核細胞と真核細胞でそれぞれみられる特徴を理解する。また、真核細胞において、核・細胞膜・細胞質基質・ミトコンドリア・葉緑体・液胞・細胞壁の機能の概要を理解する。 【知】現生生物の共通祖先について、推測される特徴を理解する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
5	2. 生物とエネルギー ①生物とエネルギー 資料2 光の有無が植物の生育に与える影響について考えよう ②代謝とATP 資料3 ATPの役割について考えよう ③代謝と酵素 実験2 酵素カタラーゼの働き	【知・思・主】光エネルギーがなければ植物は生育し続けることができないことを示した資料から、生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 【知】代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わっていることを理解する。 【知・思】代謝におけるATPの役割を資料から読み取ることができる。 【知】光合成は、光エネルギーによってATPをつくり、このエネルギーによって有機物を合成する過程であることを理解する。 【知】呼吸は、酵素の働きによって有機物が段階的に分解されてエネルギーが取り出され、ATPがつくられる過程であることを理解する。 【知】酵素の基本的な特徴について理解する。 【知・思】肝臓片に含まれるカタラーゼを用いて実験を行い、酵素の触媒作用を確認する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
6	第2章 遺伝子とその働き 1. 遺伝子の本体と構造 ①遺伝情報とDNA 資料4 DNAの塩基どうしの結合にみられる特徴について考えよう 演習1 DNAの分子モデルを作製してみよう ②DNAの複製と分配 資料5 DNAの複製のしくみを考えよう 演習2 DNAの半保存的複製を再現してみよう 観察2 細胞周期の各時期にかかる時間の推定	【知】遺伝子とDNAと染色体の関係について理解する。 【知・思・主】DNAの塩基の相補的な結合を示した資料から、DNAの構造の特徴を見だし、DNAの基本的な構造を理解する。 【思・主】DNA分子の特徴をもとにDNAの分子モデルを作製することができる。 【知・思・主】DNAの複製の概要を示した資料から、塩基の相補性にもとづいてDNAが複製されていることに気づき、半保存的複製を理解する。 【思・主】DNAの半保存的複製を、分子モデルを用いて再現できる。 【知】多細胞生物では、一部の細胞が分裂して増殖していること、分裂している細胞には細胞周期がみられることを理解する。 【知】間期の間にDNAが複製され、細胞分裂を通じて均等に分配されることで、細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれることを理解する。 【知】細胞の分裂の各過程で起こる現象を理解する。 【知・思・主】タマネギの根端を用いて、細胞分裂の各段階を観察する。また、結果から、細胞周期の各時期にかかる時間を推測できる。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
7	2. 遺伝情報とタンパク質 ①遺伝情報とタンパク質 資料6 DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列の関係を考えよう ②転写と翻訳 演習3 mRNAが指定するアミノ酸配列を読み取ってみよう ③遺伝子とゲノム 観察3 だ腺染色体の観察	【知】生体内には多種多様なタンパク質が存在し、酵素などとしてさまざまな働きをしていることを理解する。 【知】タンパク質は、多数のアミノ酸が鎖状につながってできたものであることを理解する。 【知・思・主】DNAの塩基配列と、その配列で決定されるアミノ酸配列を示した資料から、この2つの配列の関係について考察し、3つの塩基の並び(コドン)が1つのアミノ酸に対応していることを理解する。 【知】DNAの塩基配列がmRNAの塩基配列に写し取られ(転写)、これがアミノ酸配列に置き換えられる(翻訳)という流れを理解する。 【思・主】遺伝暗号表をもとに、あるmRNAが指定するアミノ酸配列を考察できる。 【知】遺伝子はゲノムの一部であることを理解する。 【知】全遺伝子が常に発現しているのではなく、細胞によって発現する遺伝子が異なっていることを理解する。 【知・主】だ腺染色体のパフを観察し、パフでmRNAが盛んに合成されていることを確認する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度

9	第3章 ヒトのからだの調節 1. 情報の伝達と体内環境の維持 ①恒常性と神経系 実験3 踏み台昇降運動を行って、心拍数の変化を測定しよう ②恒常性と内分泌系	【知】恒常性と体液の種類である血液、組織液、リンパ液について理解する。 【知・思・主】運動前後の心拍数の変化を測定する実験から、からだには体内環境の変化を情報として伝達するしくみがあることを見だし、体内における情報の伝達の概要を理解する。 【知】脳幹の働きと、脳死がどのような状態であるのかについて理解する。 【知】自律神経系には交感神経と副交感神経があり、これらが拮抗的に働くことによって体内環境を調節していることを理解する。 【知】心臓の拍動数が意思とは無関係に調節されていることを理解する。 【知】内分泌系による体内環境の調節の特徴について理解する。 【知】ホルモン分泌のフィードバック調節について、チロキシンの分泌調節を例に理解する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
10	③体内環境を調節するしくみ 資料7 血糖濃度とホルモン濃度の関係を考察しよう 資料8 血糖濃度の調節と自律神経系の関わりについて考えよう ④血液凝固	【知・思・主】健康なヒトとインスリンを正常に分泌できないヒトについて、食事の前後の血糖濃度とインスリン濃度の経時的変化を示す資料から、インスリンの働きを考察し、理解する。 【知・思・主】血糖濃度調節の流れを示した資料から、血糖濃度と自律神経系の関わりについて気づき、血糖濃度調節のしくみについて理解する。 【知】糖尿病の原因と症状について理解する。また、糖尿病で尿中にグルコースが排出される原因を理解する。 【知】体温調節のしくみについて理解する。 【知】血液凝固のしくみと体内環境の維持との関係について理解する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
11	2. 免疫 ①生体防御 資料9 白血球の働きについて考えよう 観察4 食作用の観察 ②自然免疫 ③獲得免疫 資料10 同じ感染症にかかりにくい理由を抗体産生量の変化から考えよう 演習4 免疫の流れを説明してみよう ④自然免疫と獲得免疫の特徴 ⑤免疫と生活	【知】皮膚や粘膜による生体防御について理解する。 【知・思・主】好中球の存在下における細菌数の減少を示した資料や、好中球が細菌を取り込むようすを撮影した資料から、白血球が体内でどのような働きをしているかに気づき、白血球の役割について理解を深める。 【知・主】カイコガを用いて血球の食作用を観察する。 【知】免疫を担う細胞や器官の種類と働きの概要を理解する。 【知】自然免疫のしくみを理解する。 【知】抗体の特徴について理解する。 【知】リンパ球による抗原認識、免疫寛容のしくみを理解する。 【知】獲得免疫は自然免疫によって誘導されることを理解する。 【知】獲得免疫による病原体排除の流れを理解する。 【知・思・主】一次応答と二次応答における抗体産生量の変化を示した資料をもとに、同じ感染症にかかりにくい理由を考察する。 【知】二次応答や拒絶反応が起こるしくみを理解する。 【知・思・主】免疫反応について、免疫細胞のコマを用いて、流れを整理しながら説明できる。 【知】自然免疫と獲得免疫の特徴を理解し、お互いに活性化し合って病原体を排除することを理解する。 【知】アレルギーや自己免疫疾患、エイズなど身近な免疫に関する疾患の生じるしくみを理解する。 【知】免疫のしくみを用いている予防接種や血清療法のしくみを理解する。また、近年では抗体医薬が用いられていることを理解する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
12	第4章 植生と遷移 1. 植生と遷移 ①植生と環境の関わり 観察5 植生と光・土壌の関係を調べよう 観察6 陽葉と陰葉の断面の観察 ②遷移のしくみ 資料11 伊豆大島の調査結果から遷移の要因を考察しよう	【知】植生は、相観によって森林・草原・荒原に大別されることを理解する。 【思・主】植生ごとに環境を比較する観察から、植生が異なると光や土壌環境も異なり、植生と環境は密接な関係にあることに気づく。 【知】森林の土壌の特徴を理解する。 【知】森林には階層構造がみられ、階層によって光などの環境が異なることを理解する。 【知】光の強さと光合成速度の関係を、グラフを通じて理解する。 【知】陽生植物、陰生植物の光合成速度の特徴を理解する。 【知・思・主】陽葉と陰葉の断面を観察・比較し、構造の違いと光環境との関係を考察する。 【知】植生は不変ではなく、遷移していることを理解する。 【知・思・主】伊豆大島で行われた、溶岩の噴出年代が異なる地点の植生・環境調査の結果をもとに、遷移の進む要因を考察する。 【知】乾性遷移のモデルについて、土壌の形成や光環境の変化などの環境形成作用に注目して理解する。 【知】極相林にはさまざまな大きさのギャップが存在し、その大きさによってギャップを埋める樹種が変わることがあることを理解する。 【知】湿性遷移、二次遷移について理解する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度

1	2. バイオーム ①遷移とバイオーム 資料 12 バイオームの分布を決める要因について考えよう (1) 資料 13 バイオームの分布を決める要因について考えよう (2)	【知】バイオームの概念を理解し、陸上にはその地域に生育する植物を基盤としたさまざまなバイオームが成立することを理解する。 【知・思・主】現存するバイオームと、その地域における気温や降水量の分布を対応させた資料から、環境条件によって、遷移の結果として森林や草原、荒原など多様なバイオームがみられることを理解する。 【知】地球上には、それぞれの場所に適応した植物が生育し、いろいろなバイオームが成立していることを理解する。 【知】日本におけるバイオームの水平分布と垂直分布を理解し、各バイオームの特徴的な植物種を理解する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度
2	第 5 章 生態系とその保全 1. 生態系と生物の多様性 ①生態系の成り立ち 観察7 土壌生態系を構成する生物とその環境について調べよう 観察8 環境の違いと種の多様性に関連があるか調べよう ②生態系における生物どうしの関わり 資料 14 上位の栄養段階の生物が生態系に与える影響について考えよう	【知】生態系の構成について理解する。 【知・思・主】土壌生態系を構成する生物の観察から、身近な環境でみられる生物の種の多様性に気づく。また、異なる環境でみられる土壌生態系の観察から、生態系の種の多様性や個体数は環境と密接に関係していることを理解する。 【知】地球上には、陸上以外にもさまざまな生態系がみられることを理解する。 【知】生物は、食物連鎖（食物網）によってつながっていることを理解する。 【知・思・主】上位の栄養段階の生物を排除したときの、下位の生物の種数や生息密度の変化を示した資料から、捕食－被食の関係が種の多様性に与える影響について考察する。 【知】キーストーン種によって生態系のバランスが保たれている場合があることを理解する。 【知】食物連鎖を通じて間接的に他の生物に影響を与えることがあることを理解する。	小テスト レポート 課題 授業プリント 授業ノート 授業態度

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・授業や実験は物理実験室で行います。休み時間中に移動すること。チャイム初めには着席。
- ・プリントを管理するためのファイルと演習用のノートを用意すること。
- ・教科書、資料集、問題集、問題集の解答解説、プリント用ファイル、演習用ノート、タブレットを毎回持ってくること。
- ・課題プリントや問題集を反復して解いて、学習内容の定着をはかること。
- ・実験では、事前の注意事項をよく聞き、指示に従い事故のないように十分注意すること。
- ・理科の見方・考え方を働かせて学習に取り組むこと。

令和 7 年度 保健体育科 保健

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	2 年次
教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館)

2 科目の目標

保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資 質・能力を次のとおり育成する。

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。
【イチカシ学カスタンダード】 学習内容について、健康を保持増進するための課題の解決に役立つ自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。	【イチカシ学カスタンダード】 学習内容に対して、健康を保持増進するための課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	【イチカシ学カスタンダード】 生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。
【評価の方法】 ・定期考査 ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・定期考査 ・ワークシート分析 ・保健のノート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・保健のノート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、判断力・表現力・表現力、主体的に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急	応急手当の意義やその手順について理解し、説明することができる。 日常的なケガの応急手当、熱中症の応急手当について理解し、説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査

	手当		
5	・心肺蘇生法 ・ライフステージと健康 ・思春期と健康	心肺蘇生法の手順と意義、心肺蘇生法の各手順について理解し、説明することができる。訓練用人形を使用し、心肺蘇生法を実際におこない、技能を身につける。 思春期における心身の変化、および健康課題について理解し、説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査
6	・性意識と行動の選択 ・妊娠、出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶	性意識の男女差、制に関する情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについて説明することができる。 妊娠・出産の過程における健康課題、妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解し、説明することができる。 家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について理解し、説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査
7	・結婚生活と健康 ・中高年期と健康	心身の発達と結婚生活の関係、結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動について説明することができる。 加齢に伴う心身の変化、中高年期を健やかに過ごすための個人でできる取り組みについて理解し、説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査
9	・働くことと健康 ・労働災害と健康	働くことの意義や健康とのかかわり、働き方と健康問題の変化について理解し、説明することができる。 労働災害及び労働災害を防ぐための安全管理と健康管理のしくみについて理解し、説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査
10	・健康的な職業生活 ・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・環境と健康にかかわる対策 ・ごみの処理と上下水道の整備	職場が行う健康増進対策、余暇の意義と活用のしかたについて理解し、説明することができる。 大気汚染、水質汚濁及び土壌汚染についてその原因を健康への影響、それぞれのかかわりや地球規模の環境問題について理解し、説明することができる。 大気汚染、水質汚濁及び土壌汚染についてその原因を健康への影響、それぞれのかかわりや地球規模の環境問題について理解し、説明することができる。 ゴミの処理の現状とその課題、上下水道のしくみと健康にかかわる課題説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査
11	・食品の安全性 ・食品衛生にかかわる活動	食品の安全性と健康とのかかわりや、今日的課題について説明することができる。 食品の安全性について理解し、行政、生産・製造者による衛生管理について説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査

12	・保健サービスとその活用 ・医療サービスとその活用	保健行政の役割、保健サービスや保健情報の活用について理解し、説明することができる。 医療保険のしくみ、医療機関の役割について理解し、説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査
1	・医薬品の制度とその活用	医薬品の正しい使用法や安全性を守る取り組みについて例を挙げて説明することができる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査
2	・さまざまな保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加	民間機関や国際機関などの保護活動について理解し、説明することができる。 健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

アドバイス

・授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留める」だけでなく、積極的に 自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート(プリント)を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおくれないよう積極的に活動することが大切です。

守ってほしい事項

- ・教科書や学習ノートは毎時間必ず準備してください。
- ・授業チャイムと同時に始めますので、休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき、チャイムと同時に着席を完了してください。
- ・欠席した場合は、友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和 7 年度 保健体育科 スポーツ I

1 科目について

単位数	I 単位	学科・学年	2 年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	【観点の到達目標】 採点競技及び測定競技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の監察や動作の分析のしかたなどを理解する。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツ I」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力、判断力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 から 6月	陸上競技 障害走 跳躍(走り高跳び)	【知・技】 ・自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	記録測定 ワークシート分析 行動観察
6月 から 9月	水泳 (平泳ぎ)	【知・技】 ・自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	記録測定 ワークシート分析 行動観察
10月 から 11月	体操競技 器械運動(跳び箱)	【知・技】 ・自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
12月 から 3月	陸上競技 長距離走	【知・技】 ・自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	記録測定 ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

令和 7 年度 保健体育 スポーツⅡ

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	2 年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

球技の特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮してゲームをすることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能、泳法を習得する。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。	【観点の到達目標】 競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。
【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の監察や動作の分析のしかたなどを理解できる。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツⅡ」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 月 から 3 月	バレーボール	学習内容(1学期) ・ガイダンス ・基本練習 評価の観点 ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】【主】 ・バレーボールのルールや用語を理解する。【知・技】 ・ボール操作やパス、サーブ、スパイクなどの正しい動作を身につけること。【知・技】【主】 ・正しいフォームでおこなう知識を身につける。【知・技】 学習内容(2学期) ・応用動作 ・簡易ゲーム 評価の観点 ・基本動作をフォーメーションの中で実践する。【思・判・表】 【知・技】【主】 - サーブレシーブフォーメーション - アタックレシーブフォーメーション - ブロックフォローフォーメーション - アタックコンビネーションフォロー 学習内容(3学期) ・応用動作 ・試合形式 評価の観点 ・競技のすすめ方や、競技規則を正しく理解する。【知・技】【主】 ・審判法を理解し、正しく試合を運営できる。【思・判・表】	スキルテスト ワークシート分析 行動観察 スキルテスト ワークシート分析 行動観察 スキルテスト ワークシート分析 行動観察
4 月 から 3 月	サッカー	学習内容(1学期) ・ガイダンス ・基本動作 評価の観点 ・学習の意義や内容、評価の方法について理解する。【知・技】 ・サッカーのルールや用語を理解する。【知・技】 ・ボールの操作や安定した身体の使い方を身につけること。【知・技】 ・正しいフォームで行う知識を身につける。【知・技】 学習内容(2学期) ・応用動作 評価の観点 ・基本動作をチームでの攻防の際に実践する。 - シュートパスやロングパスを使ったオープン攻撃や中央突破の攻撃、スリーバック型やフォーバック型での防御ができるようにする。【思・判・表】 学習内容(3学期) ・応用動作 ・試合形式 評価の観点 ・競技のすすめ方や、競技規則を正しく理解する。【知・技】 ・審判法を理解し、正しく試合を運営できる。【思・判・表】	スキルテスト ワークシート分析 行動観察 スキルテスト ワークシート分析 行動観察 スキルテスト ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

（守ってほしい事項）

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。（見学者も体操服を着用すること）

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 7 年度 保健体育 スポーツⅢ

1 科目について

単位数	Ⅰ 単位	学科・学年	2 年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成 することを目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 武道及び諸外国の対人的競技等の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	【観点の到達目標】 武道及び諸外国の対人的競技等における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	【観点の到達目標】 武道及び諸外国の対人的競技等の学習に主体的に取り組むとともに、伝統的な 行動の仕方、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、武道の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争や攻防、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力、判断力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 月 から 3 月	柔道	【知・技】 ・運動の特性に応じて、試合を展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート分析 ・スキルテスト
4 月 から 3 月	剣道	【知・技】 ・運動の特性に応じて、試合を展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート分析 ・スキルテスト
4 月 から 3 月	ダンス	【知・技】 ・運動の特性に応じて、試合を展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。 ・学習した内容に対して、正しく理解し、理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思・判・表】 学習内容に対して、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 【主】 学習内容に対して、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート分析 ・スキルテスト

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。
- ・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

令和 7 年度 保健体育科 スポーツⅣ

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	スポーツ科学科2年
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

「スポーツⅣ」で取り上げるダンスはイメージやリズムを捉えて一人一人の個性を生かした表現や作品をまとめて発表したり伝承されてきた地域や風土などの背景や情景を思い浮かべて仲間やパートナーと踊ったりすることを通して身体を通して自由に自己を表現するとともに心を解放して誰とでも楽しく交流するといった特性がある。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能を習得する。ダンスについての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。	【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・ダンスについて、作品の創作、踊り方、リズムの特徴などに関する名称や用語、それぞれのダンスには多様な表現につながる重要な動きや空間の使い方などのポイントがあることなどを理解すること。 ・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で対極の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ること。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して音楽に合わせて前進で自由に踊ったり、変化やまとまりをつけて仲間と対応したりして踊ること。	【イチカシ学カスタンダード】 ・ダンスに関する運動のおこない方、仲間と教えるなどの活動のしかた、健康・安全の確保のしかた、運動の継続のしかたのこれまでの学習した内容をもとに、自己や仲間の課題に応じて、運動を継続するために、知識を新たな学習場面で適用したり、応用したりすること。	【イチカシ学カスタンダード】 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなど、健康・安全を確保することができるようになること。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 から 9月	創作ダンス	【知・技】 ・作品の主題を決定し、主題にふさわしい動きや選曲する。 ・作品の展開や公正を工夫して発表する。 【思・判・表】 ・発表された作品に対して、適切な評価を行う。 【主】 ・作品の主題を決定し、主題にふさわしい動きや選曲、作品の展開や公正を工夫して発表できるようにする。グループで工夫してダンスを楽しみながら交流する。	行動観察 ワークシート分析 スキルテスト
10月 から 12月	現代的なリズムのダンス	・それぞれのグループで1つの作品をつくり発表し、お互いに評価する。 【知・技】 ・ヒップホップなどの現代的なリズムに合わせて、リズムの取り方や身体の動かし方を工夫して、協力してダンスをつくりあげ発表する。 【思・判・表】 ・現代的なリズムに乗って、グループで工夫をして踊りを楽しみながら交流する。 【主】	行動観察 ワークシート分析 スキルテスト

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず、仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 7 年度 保健体育科 スポーツⅤ

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	スポーツ科学科2年
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

「スポーツⅤ」で取り上げる野外の運動は、主として校外学習として自然環境の中で行われる体験的活動である。野外の運動は、日常生活の場から離れた大自然の中で、環境に配慮した組織的な集団活動などを通して、自然の障害や困難に対して相互に協力して対処しながら、冒険的な活動をしたり、競技を行ったりする特性がある。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自然体験型野外活動においては、その特性に応じた活動ができる。競技型野外活動においては、その特性に応じた技能を高める。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できる。	【観点の到達目標】 取り組む活動の名称や用語、技術とその高め方、体力の高め方、課題可決の方法、活動プログラムの企画・運営のしかた、初歩的な指導法、動作分析のしかたなどを理解する。
【イチカシ学カスタンダード】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツⅤ」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を組み立て、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標修正や練習計画の組み立てなどができている。	【イチカシ学カスタンダード】 取り組む活動の名称や用語、技術とその高め方、体力の高め方、課題可決の方法、活動プログラムの企画・運営のしかた、初歩的な指導法、動作分析のしかたなどを理解している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
1 学期	野外活動Ⅲ 【マリンスポーツ】 ○事前学習 ・スクーバダイビングの基礎知識 ・泳力の向上とチェック ・実習受講の諸手続	【知・技】 ・マリンスポーツ実習に向けての事前学習に取り組む。 ・スクーバダイビングのしくみを学び、基本的な理論と用語を理解する。 ・スクーバダイビングを実施する上で存在するリスクを理解し、事故防止のための安全対策の基本的な内容を理解する。 【思・判・表】 ・スポーツⅤで行う「水泳」の授業と連携し、スクーバダイビングを行う上で必要となる泳力の向上を目指す。	行動観察 ワークシート分析

	・病歴チェック	・実習のスタートにあたり必要となる、各種の書類を作成し、また各自の病歴を確認し、必要に応じて医師の診断を仰ぎます。 【主】 ・マリンスポーツの意義や目的を学び、自然の中で生活する能力や態度の育成を目指す。	
2 学 期	野外活動Ⅲ 【マリンスポーツ】 ○事前学習 ・浮力について ・気体の圧力と水圧について ○学科講習 ・PADI オープンウォーターダイバーコース(学科) ・学科テスト ○海洋実習 ・PADI オープンウォーターダイバーコース (限定水域講習・海洋実習) (エクストラダイブ)	【知・技】 ・スクーバダイビングでは、水中での活動の規則に従って、安全に楽しむために必要な知識と技術を身につける。 ・流れのない穏やかな水域で、スクーバダイビング器材の取り扱い方や、基本的なスキルを身につける。 【思・判・表】 ・インストラクターより、PADI オープンウォーターダイバーコースの学科講習を受講する。2日間の講習終了時にファイナルエグザム(最終テスト)を受け、基準以上の得点により海洋実習の参加条件を満たす。 【主】 ・限定水域よりも深い海域で、スクーバダイビングの基本的スキルを完成させるとともに、水中での楽しみ方を身につける。 ・ダイバー認定後に、インストラクターとともに水中での楽しみ方を学ぶ。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
3 学 期	野外活動Ⅲ 【マリンスポーツ】 ○事後学習 ○野外活動全般の総括	【思・判・表】 ・実習全体を通して、自らの取り組みや生花を振り返る。また、今回の実習の成果を「生涯スポーツ」として今後どのように活かしていくかを考察する。 ・2年間で実施した3つの実習を振り返り、それらを「生涯スポーツ」の観点で、そのリーダーとしてかかわっていく姿勢を身につける。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)

・貴重品の管理をしっかり行うこと。

令和 7 年度 保健体育科 スポーツVI

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	スポーツ科学科2年
教科書		副教材等	Active Sports (大修館書店)

2 科目の目標

「スポーツVI」で取り上げる体づくり運動は、運動する心地よさや仲間と関わって運動する楽しさを味わい、健康を維持するための運動や様々なスポーツを行う上で必要となる体力を高めることができるといった特性がある。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 体づくり運動について、個人や対人及び集団で取り組む各種の技や技能を習得する。体づくり運動で扱う各運動の名称や用語、その正しいおこない方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方、初歩的な指導法、体力測定のかた、課題解決の方法などを理解している。	【観点の到達目標】 生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・体づくりの運動について、個人で取り組む運動の他に、ペアで行うもの、集団で取り組むものなどの運動について、正しく理解して身体を動かすことができる。 ・体力を高める運動について、①大きな力を発揮する②スピーディな動き③動きを持続する④体の柔らかさを高める⑤動きの巧みさを高める⑥総合的に体力を高める、などの動きを正しく理解して身体を動かすことができる。 ・体づくり運動で扱う各運動の名称や用語、その正しいおこない方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方、初歩的な指導法、体力測定のかた、課題解決の方法などを理解する。	【イチカシ学カスタンダード】 ・自己の課題を解決するとともに生涯を通して、「スポーツVI」の振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や運動の組み立て方ができる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・体づくり運動の学習に主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにすること。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 月 か ら 12 月	ガイダンス ア 体ほぐし運動 イ 体力を高める運動"	【知・技】 ・「体づくり運動」学習の意義や内容、評価の方法を理解すること。 【思・判・表】 ・ペアストレッチングを行い、相手の体に気を配りながら身体各部の筋肉を伸ばす。 ・総合的なトレーニングの方法を理解し、実践することで筋力や持久力を高める。 ・エアロバイク等の利用方法を理解し、実践することで持久力を高める。 【主】 ・トレーニング場の利用方法や器具の正しい使用方法を身につけ、体力の向上を図る。	行動観察 ワークシート分析 スキルテスト

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

令和 7 年度 保健体育科 スポーツ概論Ⅱ

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	スポーツ科学科 2 年次
教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)

2 科目の目標

スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、合理的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。
【イチカシ学カスタンダード】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的・応用的な事項を理解している。	【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の価値に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。	【イチカシ学カスタンダード】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的・計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 ～ 7	【スポーツ概論】 1. スポーツについて考えよう ① スポーツの魅力について考えよう ② スポーツのこれからとこれまでを考えよう ③ 現代スポーツの問題点	【知・技】スポーツの専門的な実践に関する具体的な事項及びスポーツの振興発展に寄与するための理論について理解している。 【思・判・表】生涯を通してスポーツの振興発展に寄与することを目指して、各科目の課題に応じた運動や学習の取り組み方、健やかな心身の高め方や維持の仕方を工夫している。 【主】スポーツ文化を尊重し、主体的、合理的、計画的に、各科目の学習に取り組もうとする。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
9 ～ 12	【スポーツ概論】 2. スポーツの競技力を向上させよう ① 競技力向上に必要な基礎知識を知ろう ② 競技力を向上させる練習方法・練習計画を知ろう	【知・技】【主】自分の身体のメカニズム・運動による心身の変化はどのようにして起こるのかを理解している。 【思・判・表】自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する力を身に付けている。 解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
1 ～ 3	【スポーツ概論】 3. 専門種目における体づくり運動について ① 体づくり運動の実践 ② まとめ	【知・技】【主】自分の身体のメカニズム・運動による心身の変化はどのようにして起こるのかを理解している。 【思・判・表】自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する力を身に付けている。 解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留める」だけでなく、積極的に自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート(プリント)を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおくれないよう積極的に活動することが大切です。

(守ってほしい事項)

教科書や学習ノートは毎時間必ず準備してください。

授業チャイムと同時に始めますので、休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき、チャイムと同時に着席を完了してください。

欠席した場合は、友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和 7 年度 保健体育科 スポーツ総合演習

1 科目について

単位数	1 単位	学科・学年	スポーツ科学科 2 年次
教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)

2 科目の目標

スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、合理的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意思決定をおこない、選択すべき行動を適切に判断している。	【観点の到達目標】 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。
【イチカシ学カスタンダード】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的・応用的な事項を理解している。	【イチカシ学カスタンダード】 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の価値に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。	【イチカシ学カスタンダード】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的・計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。 また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・行動観察 ・ワークシート分析 ・学習カード 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4 ～ 7	【スポーツ概論】 1. スポーツについて考えよう ① スポーツの魅力について考えよう ② スポーツのこれからとこれまでを考えよう ③ 現代スポーツの問題点	【知・技】スポーツの専門的な実践に関する具体的な事項及びスポーツの振興発展に寄与するための理論について理解している。 【思・判・表】生涯を通してスポーツの振興発展に寄与することを目指して、各科目の課題に応じた運動や学習の取り組み方、健やかな心身の高め方や維持の仕方を工夫している。 【主】スポーツ文化を尊重し、主体的、合理的、計画的に、各科目の学習に取り組もうとする。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
9 ～ 12	【スポーツ概論】 2. スポーツの競技力を向上させよう ① 競技力向上に必要な基礎知識を知ろう ② 競技力を向上させる練習方法・練習計画を知ろう	【知・技】【主】自分の身体のメカニズム・運動による心身の変化はどのようにして起こるのかを理解している。 【思・判・表】自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する力を身に付けている。 解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察
1 ～ 3	【スポーツ概論】 3. 専門種目における体づくり運動について ① 体づくり運動の実践 ② まとめ	【知・技】【主】自分の身体のメカニズム・運動による心身の変化はどのようにして起こるのかを理解している。 【思・判・表】自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する力を身に付けている。 解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	【知・技】 定期考査での理解度分析 【思・判・表】 ワークシートや保健ノートの記入内容の分析及び発言内容の分析 【主】 発言・発表などの行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留める」だけでなく、積極的に自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。教科書と学習ノート(プリント)を中心に学習を進めます。学習の流れに乗りおくれないよう積極的に活動することが大切です。

(守ってほしい事項)

教科書や学習ノートは毎時間必ず準備してください。

授業チャイムと同時に始めますので、休み時間中に教科書及び学習ノートを準備しておき、チャイムと同時に着席を完了してください。

欠席した場合は、友人のノートを参考にするか担当者に申し出てノートの整理をしてください。

令和 7 年度 体育科 専攻実技

1 科目について

単位数	スポ科・2単位 普通科体育コ・1単位	学科・学年	スポーツ科学科 1～3 年次 普通科体育コース 2・3年次
教科書		副教材等	Active Sports（大修館書店）

2 科目の目標

球技の特性や測定競技の特性、また武道等の特性について、理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、技能を発揮して競技をすることができる資質や能力を育てる。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 自己の能力を最大限に発揮し専門的な技や技能、戦術を習得する。	【観点の到達目標】 自己に適した目標や課題を設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにしている。	【観点の到達目標】 競技についての成り立ちや変遷などの歴史や現在のルール、技術の公正及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、採点法や審判法、競技会の開催のしかたやその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面からの教養を身につけている。
【イチカシ学カスタンダード】 技術や競争における作戦・技・技能や泳法の高め方、合理的な練習法や練習計画の立て方、体力の高め方、課題解決の方法、運動の観察や動作の分析のしかたなどを理解できる。	【イチカシ学カスタンダード】 自己の課題を解決するとともに生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができるよう、これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。	【イチカシ学カスタンダード】 発達の段階や学習の段階に適した課題を設定したり、練習の進め方や場づくりの方法などを示したりすることについて、記録の向上、競争、演技や発表などに意欲をもって自主的に取り組もうとしている。また、体調や環境の変化に注意を払いながら運動を行うことについて、自己や仲間の健康を維持し、安全を確保している。
【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	【評価の方法】 ・スキルテスト ・行動観察 ・ワークシート分析 十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4月 ～ 7月	専攻実技 【野球】 【サッカー】 【バスケットボール】 【バレーボール】 【陸上競技】 (長距離) 【柔道】	【知・技】学習の意義や内容、評価の方法について理解する。 疲労の意味とコンディショニングの必要性を理解する。 【思・判・表】野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール、陸上競技(長距離)、柔道、剣道の各種目より、各自が専攻している競技(種目)に取り組む。 【主】基礎体力及び柔軟性を高めること。・チームや各自の運動課題を確認し、互いに協力し合って、計画的、自主的に練習に取り組むこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
9月 ～ 12月	【剣道】 【その他の種目】 ・ガイダンス ・基本練習 ・応用練習	【知・技】各競技の進め方や競技規則を正しく理解する。 疲労の意味とコンディショニングの必要性を理解する。 【思・判・表】各競技における基礎技術を習得する。総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認すること。総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認する。 【主】チームや各自の運動課題を確認し、互いに協力し合って、計画的、自主的に練習に取り組むこと。高度な技術に挑戦し、習得を目指すこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察
1月 ～ 3月	・総合練習 ・コンディショニング	【知・技】各競技の進め方や競技規則を正しく理解する。 基礎体力及び柔軟性を高めること。 【思・判・表】総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認すること。 総合練習により、チーム及び各自の到達度を確認する。 【主】高度な技術に挑戦し、習得を目指すこと。 技術力向上に必要な基礎技術を理解し、不足している技術を各自でドリル化し、自主的に練習に取り組むこと。	スキルテスト ワークシート分析 行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

(アドバイス)

・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められています。これまでの経験からくる運動嫌いのイメージや苦手意識に固執することなく、新たな気持ちで授業に臨むことから始めましょう。

・自分と仲間の課題を見つけようとする意欲が大切です。自分自身のことにとどまらず。仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つける努力をしましょう。

(守ってほしい事項)

・服装は学校指定の体操服を着用し、こまめに洗濯し衛生面に気をつけること。また、爪や頭髮などの身体の安全面や衛生面に気をつけること。

・授業はチャイムと同時に始めます、活動場所への移動は休み時間のうちに完了すること。また、見学者は授業前に担当者へ申し出て指示を受けること。(見学者も体操服を着用すること)

・貴重品の管理をしっかりと行うこと。

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・スポーツ科学科 2年次
教科書	高校生の音楽2 教育芸術社	副教材等	

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりを捉え、表現上の効果について理解している。(知) ・それぞれの言葉、楽器、音素材の特徴を理解し、それらを表現するための発音、奏法、身体の使い方を身に付け、表現上の効果を生かしている。(技) ・他者との調和から生まれる効果を活かして演奏している。(技)	・音楽を形づくっている要素などを知覚し、それらの働きを感じながら関わりについて考え、個性豊かに表現を工夫している。 ・自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考えている。 ・曲や演奏について根拠をもって批評している。	・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組んでいる。 ・他者の音楽表現を捉え、調和を意識している。
【イチカシ学力スタンダード】	【イチカシ学力スタンダード】	【イチカシ学力スタンダード】
・音楽用語 ・音楽記号 ・歌唱の技能 ・演奏の技能 ・読譜及び記譜の技能 など	・プレゼンテーション ・ディスカッション ・グループワーク など	・主体的に学ぶ姿勢 ・他者の音楽性理解 など
【評価材料等】	【評価材料等】	【評価材料等】
・各種技能テスト ・聴音テスト ・学習プリント	・各種技能テスト ・学習プリント ・プレゼン資料	・授業内での姿勢、発言 ・学習課題 ・プリント提出

学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	音楽ってなんだろう	鑑賞	教材 学習プリント	・学習プリント
	音楽の楽しみ 5 線記譜法	器楽演奏(ハンドベル) 楽典	教材 「Shall We Dance ?」 聴音課題	
5	音楽の楽しみ	器楽演奏(ハンドベル)	教材 「Shall We Dance ?」 ・メロディーに合わせた奏法 ・ハンドベルの奏法、演奏	・器楽実技テスト ・小テスト
	聴音課題 音程	ソルフェージュ 楽典	聴音課題 教材 学習プリント ・音程の習得	
	歌の楽しみ	歌唱表現	教材 「夏は来ぬ」	
6	聴音課題 音程	ソルフェージュ 楽典	聴音課題 教材 学習プリント ・音程の習得	・聴音テスト ・小テスト ・学習プリント
	昔話と音楽	鑑賞	教材「はげ山の一夜」 ・物語から生まれる音楽 ・音楽の要素から表現方法を 探り、深める。	
7	音楽の力	鑑賞	教材 「ボヘミアンラプソディ」	
9	ドイツ語歌曲	歌唱表現	教材「セレナード」「子守歌」 ・ドイツ語歌曲の特徴を捉える	・小テスト ・学習プリント
	コードネーム	楽典	教材 学習プリント ・コードを理解する	
	日本各地の伝統芸能	鑑賞	教材 各地の芸能及び沖縄の 伝統芸能	
10	聴音課題	ソルフェージュ	聴音課題	・歌唱実技テスト ・学習プリント
	ドイツ語歌曲	歌唱表現	教材「子守歌」 ・ドイツ語歌曲の表現を学ぶ	
	サウンドロゴ	創作	教材 学習プリント ・身近なものを紹介する ・抑揚と旋律の関わり ・コードから旋律を作る	
	聴音課題	ソルフェージュ	聴音課題	

11	サウンドロゴ	創作	教材 学習プリント ・ 作品を楽譜に起こす ・ 作品を音にする	・ 作曲音源 ・ 発表内容
	世界の音楽	器楽演奏(ハンドベル)	教材「雨にぬれても」 ・ 付点リズムの習得 ・ リズムに合う表現	
	聴音課題	ソルフェージュ	聴音課題	・ 聴音テスト
12	世界の音楽	器楽	教材「雨にぬれても」 ・ 楽曲に合う奏法、表現	・ 器楽実技テスト
	5 線記譜法	楽典	聴音課題	・ 聴音実技テスト
1	5 線記譜法	楽典	聴音課題	・ 学習プリント
	日本の心	歌唱表現	教材「糸」 ・ 日本語の表現 ・ 季節を味わう	
	音楽で辿る ローマの歴史	鑑賞	教材「ローマの松」 ・ 曲の文化的、歴史的背景を理解する ・ 情景と音楽の関わりを知覚する	
2	5 線記譜法	楽典	聴音課題	・ 聴音実技テスト ・ 歌唱実技テスト
	日本の歌	歌唱表現	教材「糸」 ・ 日本語の表現	
	音楽の楽しみ	アンサンブル	教材「デスクドラミング」 ・ 音色の違い、音の重なりを感じる ・ 個性豊かな表現	
3	5 線記譜法 音楽の楽しみ	楽典 アンサンブル	聴音課題 教材「デスクドラミング」	・ 聴音実技テスト ・ アンサンブル実技テスト

担当者からのメッセージ（学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

1年間を通して、身近な音楽から世界の音楽まで、幅広く学んでいきたいと思います。
また、1年生で身に付けた力を基に作曲にも挑戦し、表現の幅を広げていきましょう。
とにかくやってみることが大切です。どんどんチャレンジしていきましょう。

令和7年度 音楽科 器楽演奏法Ⅱ

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	2 年次
教科書	副教材のみ	副教材等	バイエル(全音楽譜出版) ソナチネ(全音楽譜出版)

2 科目の目標

器楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力の育成を目指す。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり、及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために技能を身に付けている。	・器楽演奏に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。 ・演奏上の課題に直面したときに、的確な解決方法を見出す工夫がある。	【観点の到達目標】 ・主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組んでいる。 ・他者の演奏を聴き、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わっている。
【イチカシ学カスタンダード】 ・音楽文化への理解 ・読譜の技能 ・演奏の技能 など	【イチカシ学カスタンダード】 ・音色 ・アゴーギグ ・構成 など	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に学ぶ姿勢 ・他者の音楽表現への理解 など
【評価の方法】 ・個人レッスン ・実技試験	【評価の方法】 ・個人レッスン ・実技試験	【評価の方法】 ・進捗表 ・伴奏合わせ

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い, 総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	器楽演奏 (ピアノ)	教材「バイエル」「ソナチネ」 ねらい: 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解し、身につける。	
5		〈初心者〉 【知・技】 ・運指、音の配置を理解し、基礎的な奏法を身につけている。 【思・判・表】 ・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】 ・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。 〈中級者〉 【知・技】 ・楽譜から作曲者の意図を理解し、楽器を通して自己表現をする力が身につけている。 【思・判・表】 ・曲の特徴を捉え、記譜されている音楽記号に忠実に表現している。	・個人レッスン ・実技試験 ・進捗表

6		【主】実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。 〈上級者〉 【知・技】・楽譜から作曲者の意図を理解し、楽器を通して自己表現をする力が身についている。 【思・判・表】・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	
7	器楽演奏 (管弦打楽器)	教材「各楽器の課題曲」 ねらい:曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する。 【知・技】・楽器の特徴を理解し、それにふさわしい自己表現を身につけている。 【思・判・表】・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	・個人レッスン ・実技試験 ・進捗表 ・伴奏合わせ
9	器楽演奏 (ピアノ)	教材「枯葉」 ねらい:ジャズの特徴であるスウィングのリズムを理解し、曲想と楽器の音色や奏法との関わりによって生み出される表現上の効果を理解し、身につける。	・個人レッスン ・実技試験 ・進捗表 ・
10		〈初心者〉 【知・技】・正確なリズムを身に付けている。 【思・判・表】・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	
		〈中級者〉 【知・技】・楽譜から作曲者の意図を理解し、楽器を通して表現する力が身についている。 【思・判・表】・フレーズに合わせた表現をしている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	
11		〈上級者〉 【知・技】・リズムの抑揚を感じ理解し、楽曲の雰囲気に合わせた表現方法を身につけている。 【思・判・表】・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	
12	器楽演奏 (管弦打楽器)	教材「自由曲」 【知・技】・様々な時代の曲想と楽器の音色や奏法との関わりによって生み出される表現上の効果を理解し、表現する力を身につけている。 【思・判・表】・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	・個人レッスン ・実技試験 ・進捗表 ・伴奏合わせ
1	器楽演奏 (ピアノ)	教材「バイエル」 「ソナチネ」 ねらい:表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付ける。	
2		〈初心者〉 【知・技】・楽譜の読み方を理解し、音の鳴りが均等になるよう技術を身につけている。 【思・判・表】・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	・個人レッスン ・実技試験 ・進捗表 ・伴奏合わせ
		〈中級者〉 【知・技】・曲の雰囲気を理解し、それに合わせた音色になるよう技術を身につけている。 【思・判・表】・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	
		〈上級者〉 【知・技】・曲が作られた時代背景を理解し、それにふさわしい表現方法を身につけている。 【思・判・表】・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	
3	器楽演奏 (管弦打楽器)	教材「エチュード」 【知・技】・表現形態の特徴や表現上の効果を理解し、演奏の基礎的な能力を身に付けている。 【思・判・表】・他者の演奏を聴き、自分なりに評価し、よさを味わっている。 【主】・実技試験に向け、主体的に音楽を追求しようとしている。	・個人レッスン ・実技試験 ・進捗表 ・伴奏合わせ

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・1曲ごとに時間をかけて取り組みます。練習時間の集中力と、レッスンで与えられた課題を解決する能力が必要になってきます。
- ・分からないことは質問し、たくさんの曲に触れて音楽性を高めていきましょう。
- ・楽譜を配付しますので、保管用にA4のポケットファイルを準備してください。

単位数	2 単位	学科・学年・学級	2 学年 D～S 組
教科書	書道Ⅱ (東京書籍)	副教材等	

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意義や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ・書の表現の方法、形式、書表現の多様性を理解する。 ・書の伝統に基づいた効果的な表現のための技能を身に付ける。 (よく見て正確に表現する)	【イチカシ学カスタンダード】 ・意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫した作品作りを習得する。 ・作品や書の伝統と文化の意義や価値を考え、書的美しさを味わい深く捉える。 (自分の思いを表現する)	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に書の創造的な表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
【評価材料等】 ・作品 ・ワークシート など	【評価材料等】 ・作品 ・ワークシート など	【評価材料等】 ・ワークシート ・取り組みの様子

学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	漢字の書	・漢字の書の成立と変遷	・漢字の書体の特徴と変遷について理解する。	ワークシート
5		・篆書 ①泰山刻石 ②石鼓文 ③甲骨文・金文 ④篆刻	・篆書とはどのような書体かを知り、歴史的位置づけを理解する。 ・篆書の基本的な用筆・運筆、結構について習得し特徴を理解する。 ・篆書の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。 ・篆書の古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を深める。	ワークシート 作品 観察
6		・隸書 ①乙瑛碑 ②居延漢簡 ③石門頌	・隸書とはどのような書体かを知り、歴史的位置づけを理解する。 ・隸書の基本的な用筆・運筆、結構について習得し特徴を理解する。 ・隸書の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。 ・隸書の古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を深める。	ワークシート 作品 観察
7				
9	漢字の書	・草書 ①十七帖 ②書譜 ③自叙帖	・草書とはどのような書体かを知り、歴史的位置づけを理解する。 ・草書の基本的な用筆・運筆、結構について習得し特徴を理解する。 ・草書の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。 ・草書の古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を深める。	ワークシート 作品 観察
10				
11		・行書 ①集王聖教序 ②顔真卿の三稿	・代表的な行書の用筆・運筆、結構について習得し特徴を理解する。 ・行書の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。 ・行書の古典を鑑賞し、作者や時代背景などに関する知的理解を深める。	ワークシート 作品 観察
12		・楷書 ①薦季直表 ②爨宝子碑 ③始平公造像記・張猛龍碑 ④孟法師碑・樂毅論 創作	・代表的な楷書の用筆・運筆、結構について習得し特徴を理解する。 ・楷書の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。 ・楷書の古典を鑑賞し、作者や時代背景などに関する知的理解を深める。 ・主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組む。 ・学習した古典、習得した技法を生かして作品を制作する。	ワークシート 作品 観察 作品 観察

1	仮名の書	・ 仮名の書の成立 ・ 古筆の鑑賞と臨書 ①高野切第一種 ②本阿弥切本古今和歌集・関戸本古今和歌集 ③香紙切・針切	・ 仮名の成立と変遷について理解する。 ・ 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 ・ 古典に基づく用筆・運筆の表現技法を習得し、短冊や散らし書きなどの形式について理解を深める。 ・ 作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	ワークシート 作品 観察
2				
3	漢字仮名交じりの書	・ 漢字仮名交じりの書の変遷 ・ 表現の工夫	・ 漢字、仮名の古典をもとに、その表現を生かした漢字仮名交じりの書の作品を作る。 ・ 漢字と仮名の調和の方法を考え工夫し、自分の感性を表現する。 ・ 書の学習を生活の中のさまざまな場面で生かす工夫をする。	作品 観察

担当者からのメッセージ(学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・ 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深め、書写能力の向上を図りましょう。
- ・ 書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けましょう。
- ・ 書のよさや美しさを感じ「何を表現したいか」を考え表現を工夫した作品を作りましょう。
- ・ 主体的に書の創造的な活動に取り組みましょう。
- ・ 書を愛好する気持ちで書の伝統と文化に親しみましょう。
- ・ 書を通して心豊かな生活や社会を創造していく気持ちを持ち続けてください。
- ・ 作品を丁寧に扱うように、道具の扱いや書道教室の使い方も丁寧にしましょう。
- ・ 片付けや教室内の整理整頓までしっかりと気を配り、美しい作品を作りましょう。

単位数	2 単位	学科・学年・学級	3 学年 全組
教科書	書道 I (東京書籍)	副教材等	

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ・書の表現の方法、形式、書表現の多様性を理解する。 ・書写能力を向上させ、書の伝統に基づいた効果的な表現のための基礎的な技能を身に付ける。 (よく見て正確に表現する)	【イチカシ学カスタンダード】 ・意図に基づいた表現について創造的に深く構想し工夫した作品作りを習得する。 ・生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 (自分の思いを表現する)	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
【評価材料等】 ・ 作品 ・ ワークシート など	【評価材料等】 ・ 作品 ・ ワークシート など	【評価材料等】 ・ ワークシート ・ 取り組みの様子

学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	書へのいざない 漢字仮名交じりの書	・用具・用材 ・姿勢・執筆法 ・調和よく書いてみよう	・用具・用材の種類や性能を学ぶ。 ・姿勢や執筆法の基本を理解する。 ・漢字と仮名の調和と用筆の基本について理解する。	ワークシート
5	漢字の書	・漢字の書の成立と変遷	・漢字の書体の特徴と変遷について理解する。	ワークシート 作品 観察
6		・古典に学ぼう ①九成宮醴泉銘 ②蘭亭序 ③曹全碑	・古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。 ・作品ごとの用筆と字形の特徴を理解し臨書する。 ・それぞれの表現の違いを理解し、その特徴を時代背景や人物を通して鑑賞する。 ・主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。	
7		・表札を作ろう	・刻字の手順を理解し、構想を練り、制作する。 ・表現したいイメージを古典から見つけ、構成などの表現方法を工夫しながら制作する。 ・各自の作品について、制作の意図を発表し、鑑賞しあう。	ワークシート 作品 観察
9	漢字の書	・篆書 ・篆刻を楽しむ	・篆書の種類や成立過程を理解する。 ・篆刻の用具・用材や創作の手順について理解し、構想を練り、創作につなげる。	ワークシート 作品 観察
10		・創作をしよう ①半切作品	・創作の手順を理解し、作品の構想を練る。 ・表現したいイメージを古典から見つけ、構成などの表現方法を工夫しながら臨書する。	ワークシート 作品 観察
11		②書初め		
12		創作	・年始の書初めにふさわしい語句で作品を仕上げる。 ・表現したいイメージを古典から見つけ、構成などの表現方法を工夫しながら制作する。 ・各自の作品について、制作の意図を発表し、鑑賞しあう。	作品 観察

1	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書の名筆を鑑賞しよう ・創作しよう	・漢字仮名交じりの書を鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を深める。 ・創作の手順を理解し、作品の構成を練る。 ・構成などの表現方法を工夫しながら制作する。 ・各自の作品について制作の意図を発表し、鑑賞しあう。 ・生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	ワークシート 作品
2				
3				

担当者からのメッセージ(学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深め、書写能力の向上を図りましょう。
- ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けましょう。
- ・書のよさや美しさを感じ「何を表現したいか」を考え表現を工夫した作品を作りましょう。
- ・主体的に書の幅広い活動に取り組みましょう。
- ・書を愛好する気持ちで書の伝統と文化に親しみ継承しましょう。
- ・書を通して心豊かな生活や社会を創造していく気持ちを持ち続けてください。
- ・作品を丁寧に扱うように、道具の扱いや書道教室の使い方も丁寧にしましょう。
- ・片付けや教室内の整理整頓までしっかりと気を配り、美しい作品を作りましょう。

令和7年度 芸術科 美術Ⅱ

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	2年次
教科書	光村図書出版 美術Ⅱ	副教材等	

2 科目の目標

芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	【観点の到達目標】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	【観点の到達目標】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ・対象や事象を捉える造形的な視点の習得 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表す力	【イチカシ学カスタンダード】 ・造形的な見方・考え方を活用し、主題を生成したり、個性豊かに発想し構想を練ったりする力 ・自己の価値観を高めて、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める力	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に学習に取り組む ・主体的な課題の発見・解決 ・主体的に多様な価値観と触れ合う
【評価の方法】 ・ワークシート ・作品	【評価の方法】 ・ワークシート ・作品	【評価の方法】 ・振り返りシートにおける記述 ・行動観察

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	オリエンテーション 美術はなぜ学ぶのか	【知・技】 社会における美術の役割を理解している。 【思・判・表】 社会における美術の役割を理解したうえで、授業でどのように取り組んでいくかや、美術を学ぶ意義を考え、自分の言葉で表すことができる。 【主】 美術を学ぶ意義を、他者の意見を聞きながら多角的かつ主体的に考えようとしている。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
5	絵画鑑賞	【知・技】 形や色、タッチなどが感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【思・判・表】 造形的な特徴やよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を大切にしながら、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えている。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察

		【主】造形的な特徴やよさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	
6	絵画表現	【知・技】形や色、タッチなどが感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 【思・判・表】自分が選んだ作品について深く考察し、自分との関連性や、自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などから主題を生成し、それらに応じて表現方法を考え、表現の構想を練っている。 【主】主体的に自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
7	鑑賞会	【思・判・表】造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主】主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の意見や作者の表したいことについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
9	映像メディア表現	【知・技】主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 【思・判・表】映像表現の視覚的な要素などの効果的な生かし方について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主】主体的に自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
10	映像メディア表現	【知・技】主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 【思・判・表】映像表現の視覚的な要素などの効果的な生かし方について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主】主体的に自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
11	立体デザイン	【知・技】造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。主題に合った表現方法を創意工夫し、目的や計画をもとに創造的に表している。 【思・判・表】社会におけるデザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主】主体的に生活の中にある美術やデザインなどを見つめ、感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
12	鑑賞会	【思・判・表】造形的なよさや美しさを感じ取り、作者のねらいや目的と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主】主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の意見や作者のねらいについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
1	現代美術鑑賞	【知・技】形や色、タッチなどが感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【思・判・表】造形的な特徴やよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を大切にしながら、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えている。 【主】造形的な特徴やよさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
2	コラージュ	【知・技】形や色、構図などが感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 【思・判・表】自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などから、個性豊かに主題を生成し、それらに応じて表現方法を考え、表現の構想を練っている。 【主】主体的に自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
3	鑑賞会	【思・判・表】造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主】主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の意見や作者の表したいことについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・指示をよく聞き、マナーを守り、安全な活動を心掛けてください。皆が気持ちよく授業に参加できるようにしましょう。
- ・課題は授業時間内での完成を目指し、締め切りに間に合うようにしましょう。作業が遅れている者は補講も実施しますが、怠惰が理由の場合の補講の参加は認めません。欠席が多くなってしまった場合は自分から相談をすること。
- ・提出物(ワークシート、作品等)は、締め切りを守り、確実に提出してください。未完成のものや期限を守らないものは大幅に減点します。
- ・美術は答えがたくさんある教科です。自分の答えを持つことはもちろん大切ですが、他者の答えも大切にしてください。様々な価値観を認められる心を育みましょう。

令和7年度 芸術科 絵画

1 科目について

単位数	2単位	学科・学年	3年次
教科書	光村図書出版 美術Ⅰ 美術Ⅱ	副教材等	

2 科目の目標

芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 表現形式の特性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けるようにする。	【観点の到達目標】 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。	【観点の到達目標】 絵画表現の可能性を追求する態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 ・表現形式の特性についての理解 ・専門的な技能を習得する力	【イチカシ学カスタンダード】 ・絵画表現における専門的な知識や技能などを活用し、創造的に発想し構想を練ったりする力 ・作品などに対する見方や感じ方を深めたりする力	【イチカシ学カスタンダード】 ・主体的に学習に取り組む ・主体的な課題の発見・解決 ・主体的に多様な価値観と触れ合う
【評価の方法】 ・ワークシート ・作品	【評価の方法】 ・ワークシート ・作品	【評価の方法】 ・振り返りシートにおける記述 ・行動観察

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	オリエンテーション 美術はなぜ学ぶのか	【知・技】社会における美術の役割を理解している。 【思・判・表】社会における美術の役割を理解したうえで、授業でどのように取り組んでいくかや、美術を学ぶ意義を考え、自分の言葉で表すことができる。 【主】美術を学ぶ意義を、他者の意見を聞きながら多角的かつ主体的に考えようとしている。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
5	デッサン、クロッキー	【知・技】表現材料の特性について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を身に付けている。 【思・判・表】対象のイメージや空間を把握することができる。 【主】主体的に対象を見つめ考察を深めたり、表現材料などを研究し取り入れたりしながら表現を高めていこうとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察

6	デッサン、クロッキー	【知・技】表現材料の特性について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を身に付けている。 【思・判・表】対象のイメージや空間を把握することができている。 【主】主体的に対象を見つめ考察を深めたり、表現材料などを研究し取り入れたりしながら表現を高めていこうとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
7	鑑賞会	【思・判・表】造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主】主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の意見や作者の表したいことについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
9	表現方法演習 絵の具について	【知・技】混色をすることで、色や表現の幅が広がることを理解している。絵の具の特徴や使い方を理解し、様々な表現方法やモダンテクニック等を利用する技術を身につけている。 【思・判・表】自分の作りたい色や、主題に応じた表現方法はどのようにすればできるかを、考察しながら表現している。 【主】混色や絵の具の表現を主体的に広げようとしている。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
10	アクリル画表現	【知・技】形や色、タッチなどが感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かに創造的に表している。 【思・判・表】条件を生かし、自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などから主題を生成し、それらに応じて表現方法を考え、表現の構想を練っている。 【主】主体的に自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
11	アクリル画表現	【知・技】形や色、タッチなどが感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かに創造的に表している。 【思・判・表】条件を生かし、自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などから主題を生成し、それらに応じて表現方法を考え、表現の構想を練っている。 【主】主体的に自己や他者などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
12	鑑賞会	【思・判・表】造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主】主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の意見や作者の表したいことについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察
1	絵画鑑賞	【知・技】形や色、タッチなどが感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【思・判・表】造形的な特徴やよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を大切にしながら、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えている。 【主】造形的な特徴やよさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・指示をよく聞き、マナーを守り、安全な活動を心掛けてください。皆が気持ちよく授業に参加できるようにしましょう。
- ・課題は授業時間内での完成を目指し、締め切りに間に合うようにしましょう。作業が遅れている者は補講も実施しますが、怠惰が理由の場合の補講の参加は認めません。欠席が多くなってしまった場合は自分から相談をすること。
- ・提出物(ワークシート、作品等)は、締め切りを守り、確実に提出してください。未完成のものや期限を守らないものは大幅に減点します。
- ・美術は答えがたくさんある教科です。自分の答えを持つことはもちろん大切ですが、他者の答えも大切にしてください。様々な価値観を認められる心を育みましょう。

令和7年度 芸術 工芸Ⅱ シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・スポーツ科学科 2年次
教科書	工芸Ⅱ 日本文教出版	副教材等	

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・造形の要素の働きなどを基に素材の特徴を理解し、造形表現に生かしている。 ・意図に応じて材料や道具を生かし、手順や技法を創意工夫している。	・与えられた素材、自分の思い、生活を豊かにするなどからデザインを発想し、考え表現する。 ・古典作品と向き合いデザインに取り入れることも視野に入れる。	・新しい素材、道具などと真摯に向き合い自分の能力を最大限に生かし、また伸ばす。
【イチカシ学カスタンダード】 ・多様な素材、高度な道具を扱う。	【イチカシ学カスタンダード】 ・高度な技術も基礎的な技術の積み重ねであることを学び、自らの考えや発想を作品に反映することができる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・周りの人とのコミュニケーションをとり、お互い気持ちよく作業することができる。
【評価材料等】 ・デザイン、発想力。	【評価材料等】 ・素材の把握、新しい技術の習得。	【評価材料等】 ・作品完成までのプロセスを把握し、努力する。

2 学習の計画

月	单元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	木工	・ウッドシート模様によるハンガー	・ハンガーのデザインを考える。 ・材料の切り出し ・ハンガーの外郭線に沿ってのこぎりで切る。 ・中心に4mmの隙間を明け、木工ボンドで接着する。	・制作方法を理解したか。 ・のこぎりの使い方はよいか。 ・ボンドの量と固定具の使い方はできているか。
5			・ベルトサンダーを使いハンガーの形にしていく。 ・ボードやすり、紙やすりを使い磨く。	・ベルトサンダーを安全にかつ的確に使う事ができたか。 ・磨きは綺麗にできたか。

6		・ウッドシートで加飾	・ウッドシートをデザインに沿ってカッター、ハサミなどを使い、切って木工ボンドで張っていく。	・きれいに切って貼ることが出来たか。形により、道具を選択できたか。 ・木工ボンドはきれいに張れたか。
7		・真鍮フック ・ニス仕上げ	・4mmの真鍮棒をハンガーのフックの形に叩いて作る。 ・ワッシャーを入れ、固定。 ・水生ニスを刷毛で塗っていく。 乾いたら紙やすりで軽く磨きニスを塗る。これを繰り返ししあげる。	・フックは形よく出来たか。 ・ニスは綺麗に塗れたか。磨きは綺麗にできたか。
9	金工	アルミボウル	・20cm四方1mmのアルミ板を丸く切り、木槌を用いて叩いて、鈍しては叩きを繰り返しボウルを造る。	・糸鋸で安全に丸く切れたか。 ・鈍しと叩きを理解し安全に的確に作業できたか。
10			・ボウルの形ができたなら、縁の模様を考えて糸鋸、透かし模様（ボール盤で穴をあけ）なども考えていれる。	・縁の形や透かし模様は美しく切れたか。切ったあとの処理は綺麗にできたか。
11	金工	・銀の匙を制作 ・デザイン	・使いやすさも大事だが、そばに置きたいおしゃれなアイスクリームスプーンを創ろう。 ・少し厚めの（3mm）銀材料を使い、お皿の部分は叩いて1mm位にして、柄の部分は細く叩く。	・わくわくするデザインは出来たか。
12			・鈍し、叩きを繰り返す。	・鈍し、叩きを安全にかつ的確にできたか。
1			・大体の形に伸びたら、左右対称をとり、糸鋸、鑢で形を整える。 ・金槌跡をなくすように鳴らし打ちをして平らにし、鑢で整える。	・きれいに叩けたか。 ・糸鋸できれいに切れたか。

Ⅱ か ら ま で			・ スプーンの形にお椀状に叩き耐水ペーパー#240 から # 2000 ま でかけて、研磨剤を使い磨き上げる。	・ 金やすりは適切に使えたか。 ・ 丸みはうまく叩けたか。 ・ 磨きはきれいに出来たか・ピカールはきれいに出来たか。
3		講評会	・ 仕上がったお互いの作品を観ながら、お互いのよいところなどを鑑賞する。	・ 一年間を通して授業に積極的に取り組んだか。

担当者からのメッセージ（学力みにつけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守って欲しいことなど）
 工芸Ⅰで学んだ事を踏まえてより高度な技術を身に着け、豊かな生活を楽しむ術を学んでいきたいとおもいます。

令和7年度 美術 クラフトデザイン シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	2年次
教科書	なし	副教材等	

学習の到達目標および評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・造形の要素の働きなどを基に素材の特徴を理解し、造形表現に生かしている。 ・意図に応じて材料や道具を生かし、手順や技法を創意工夫している。	・与えられた素材、自分の思い、生活を豊かにするなどからデザインを発想し、考え表現する。 ・古典作品と向き合いデザインに取り入れることも視野に入れる。	・新しい素材、道具などと真摯に向き合い自分の能力を最大限に生かし、また伸ばす。
【イチカシ学カスタンダード】 ・多様な素材、高度な道具を扱う。	【イチカシ学カスタンダード】 ・高度な技術も基礎的な技術の積み重ねであることを学び、自らの考えや発想を作品に反映することができる。	【イチカシ学カスタンダード】 ・周りの人とのコミュニケーションをとり、お互い気持ちよく作業することができる。
【評価材料等】 ・デザイン、発想力。	【評価材料等】 ・素材の把握、新しい技術の習得。	【評価材料等】 ・作品完成までのプロセスを把握し、努力する。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	染色（手拭い）	手描き染めによる手拭い ・名画を選ぶ	・原色日本の美術、浮世絵、アールヌーボーのデザインなど過去の名作をアレンジして、手拭いをデザインする。	・過去の名品に触れ、味わうことができたか。
5		・手拭いに名画をレイアウト	・自分の選んだ名画を手拭いの大きさに落とし込んでいく。 ・いくつか組み合わせてもよい。	・絵画の比率と手拭いの比率を考えられたか。 ・美しくレイアウト出来たか。
6		・転写 ・線描	・パネルに晒しぬのをマスキングテープで貼る。 ・名画の原画をトレーシングペーパー紙に写し、用意してあるボール紙に貼り、その上に晒し布を伸ばしてマスキングテープで貼り、布ペン（極細）で描いていく。	・トレーシングペーパーで写すときの注意として、その線を元に名画を描いて行くことを考えられたか。 ・本番の描写は綺麗に適切に描けたか。
7		・彩色	・全て線描したら、布ペンで彩色していく。 ・混色、ぼかしなども、適切に指導しながら、難易度をあげ、友禅染をイメージさせながら染めていく。	彩色はきれいにできたか。 ・配色は適切に考えられたか。 ・ぼかし、混色はきれいにできたか。
8				
9	A ベルトとバツクル B シルバーリング	A か B を選んで制作 A デザイン B デザイン	A ・デザイン ・図面 ・鑢で削る B ・デザイン ・ロウ付け ・丸く叩く	AB ともに技法、手順を理解してデザインできたか ・A 鑢は適切に安全に使えたか ・B はロウ付け、叩きは適切に安全に作業できたか。

10			A・バックルの形が出来たら耐水ペーパーで磨き上げる B・指輪が丸くなったから鑢できれいな平角にする ・デザインに応じて鑢で形をつくって	A・自分のデザインをいかし、きれいに鑢で削れたか。左右対称の形は綺麗にできたか。 B・指輪は綺麗に丸く削れたか
11			A・革を染めて、アンティークダイ、トコノールコパコートで磨く。 ・自分のサイズに切りベルトに仕立てる B・耐水ペーパーで磨き上げていく。 ・研磨剤でみがく。	A・革の質感を生かして仕上げられたか。仕立ては丁寧にできたか。 B・指輪の傷は取りきれたか
12			A・バックルとベルトをカシメる。 B・指輪の内側も綺麗に磨く	AもBも自分のデザインに忠実にそしてこだわりをもって制作できたか。
1	陶芸	カップかどんぶりを選り上絵で装飾	陶芸の中でも上絵付という技法を学ぶ ・上絵の具、上絵シートと2種類の技法があるが、説明をよく理解しデザインしていく	・デザインは適切か。 ・色彩を考えてバランスよくデザインできたか
2			・カップ、どんぶりに上絵シートか上絵絵具で加飾していく	・上絵シート、上絵の具の扱い（カッター、やハサミの使い方、筆の扱い）は適切に安全にできていたか
3	鑑賞	一年間の作品を振り返る	お互いの作品を鑑賞し意見を出してみる	自分や友人の作品を客観的に意見を出し合おう

担当者からのメッセージ(学力をみにつけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守って欲しい事項など)

工芸の中でも身近な素材(布、土、金属、木、革など)に触れ、感性を磨き、道具の使い方を学び、技術を高め、作品を作る喜びを体験する。

令和7年度 英語コミュニケーションⅡ

1 科目について

単位数	3単位	学科・学年	普通科 2年次
教科書	LANDMARK Fit English Communication II (啓林館)	副教材等	プレップ・イングリッシュ (旺文社) チャンクで英単語 Basic

2 科目の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。具体的な活動・領域は以下の通り。(1) 聞くこと 日常的・社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。(2) 読むこと 日常的・社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができるようにする。(3) 話すこと [やり取り] 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく伝え合うやり取りを続けることができるようにする。(4) 話すこと [発表] 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝えることができるようにする。(5) 書くこと 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり、読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落からなる文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

	①知識・技能	②思考、判断、表現	③主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。【技能】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について話された文等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図、概要、要点、詳細を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞こうとしている。

読むこと	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。【技能】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた文等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要、要点、詳細を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読もうとしている。
話すこと 「やり取り」	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。【技能】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して詳しく伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。
話すこと 「発表」	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。【技能】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して詳しく伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。【技能】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して複数段落を用いて詳しく書いて伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて書こうとしている。
	【イチカシ学力スタンダード】 ・新しい語彙や文法を身につけ、教科書本文の基本的な英文の音読や読解ができるようになる。 ・本文についての英文を聞いて理解できるようになる。	【イチカシ学力スタンダード】 ・本文の内容を要約し、1 分間程度でプレゼンテーションができるようになる。 ・エッセイで 30 語程度の英文が書けるようになる。	【イチカシ学力スタンダード】 ・言語学習をとして、異文化を理解できるようになる。 ・ペアトークやグループワークを通して、主体的に学ぶ姿勢を身につける。

	【評価材料等】 ・ 定期考査 ・ 英単語テスト ・ 単元テスト	【評価材料等】 ・ 定期考査 ・ スピーキングテスト ・ プレゼンテーション ・ エッセイライティング ・ ペアトーク・グループワークへの取り組み	【評価材料等】 ・ 宿題 ・ ファイル提出 ・ ワーク提出 ・ ペアトーク・グループワークへの取り組み
--	--	--	---

4 3 観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	Lesson 1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan	不定詞形容詞的用法 不定詞副詞的用法 動名詞	〈聞くこと〉 好きなアニメのジャンルについての対話から必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉 海外の視点から見た日本の不思議について書かれた文章を読み，不定詞や動名詞の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り，要点や詳細を把握する。 〈話すこと【やり取り】〉 描かれている漫画の内容について，情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと【発表】〉 描かれている漫画の内容について，情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。 〈書くこと〉 描かれている漫画の内容について，情報や自分の考えを論理性に注意して文章を書いて伝える。	単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション
5	Lesson 2 A Message from Emperor Penguins	現在完了 助動詞を含む受動態 間接疑問文 完了進行形	〈聞くこと〉 コウテイペンギンの関心がある点について話されている対話から必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉 コウテイペンギンの生態について書かれた文章を読み，現在完了形や助動詞を含む受動態，間接疑問文，現在完了進行形の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り，要点や詳細を把握する。 〈話すこと【やり取り】〉 関心のある動物について，情報や自分の考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと【発表】〉 関心のある動物について，情報や自分の考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。 〈書くこと〉 関心のある動物について，情報や自分の考えを論理性に注意して文章を書いて伝える。	定期考査 単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション エッセイライティング
6	Lesson 3 Tokyo's Seven-minute	分詞形容詞的用法 形式目的語 SVO+to 不定詞	〈聞くこと〉 日本の誇れることについて話されている対話から必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉 新幹線の清掃員の仕事の様子とその仕事に対する考えについて書かれた文章を読み，分詞の形容詞的用法や形式目的語 it+to 不定	単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション

	Miracle		詞，形式目的語 it=that節，〈S + V + O + to 不定詞〉の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り，要点や詳細を把握する。 〈話すこと [やり取り]〉日本の誇れることについて，情報や自分の考えを詳しく話して伝えあうやり取りを続ける。 〈話すこと [発表]〉日本の誇れることについて，情報や自分の考えを論理性に注意して，詳しく話して伝える。 〈書くこと〉日本の誇れることについて，情報や自分の考えを論理性に注意して文章を書いて伝える。	
7	Lesson 4 Seeds for the Future	複合関係代名詞 SVO+現在分詞 完了受動態 SVO+過去分詞	〈聞くこと〉自分の関心のあることや熱中していることについての対話から必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉タネの保全のための活動と取り組みについて書かれた文章を読み，複合関係代名詞や〈S + V + O + 現在分詞〉，完了形の受動態，〈S + V + O + 過去分詞〉の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り，要点や詳細を把握する。 〈話すこと [やり取り]〉自分の関心のあることや熱中していることについて，情報や考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと [発表]〉自分の関心のあることや熱中していることについて，情報や自分の考えを論理性に注意して，詳しく話して伝える。 〈書くこと〉自分の関心のあることや熱中していることについて，情報や考えを論理性に注意して文章を書いて伝える。	定期考査 スピーキングテスト 単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション エッセーライティング
9	Lesson 5 Gaudi and His Messenger	分詞構文 知覚動詞 付帯状況の with	〈聞くこと〉ガウディと外尾悦郎さんに関して感銘を受けたことについての対話から必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉ガウディと外尾悦郎さんについて書かれた文章を読み，付帯状況を表す現在分詞の分詞構文や過去分詞の分詞構文，〈S+V[知覚動詞]+O+過去分詞〉，付帯状況を表すwithの意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り，要点や詳細を把握する。 〈話すこと [やり取り]〉自分が感銘を受けた歴史的建造物について，情報や考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと [発表]〉自分が感銘を受けた歴史的建造物について，情報や考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。 〈書くこと〉自分が感銘を受けた歴史的建造物について，情報や考えを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。	単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション
10	Lesson 6 Edo: A Sustainable Society	前置詞+関係代名詞 使役動詞 助動詞+完了形 完了不定詞	〈聞くこと〉「もったいない」の考えについて話されている対話から必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉江戸時代の持続可能な社会について書かれた文章を読み，〈前置詞+関係代名詞〉や〈S+V[使役動詞]+O+過去分詞〉，助動詞+have+過去分詞，完了形の不定詞の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り，要点や概要を把握する。 〈話すこと [やり取り]〉私たちが無駄にしているものについて，情報や考えを詳しく話して伝えるやり取りを続ける。	定期考査 単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション エッセーライティング

			〈話すこと【発表】〉私たちが無駄にしているものについて、情報や考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。 〈書くこと〉私たちが無駄にしているものについて、情報や考えを論理性に注意して文章を書いて伝える。	
11	Lesson 7 Biodiesel Adventure: From Global to Glocal	強調構文 完了分詞構文 複合関係副詞 部分否定	〈聞くこと〉住み続けられるまちづくりのための取組みについて話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉山田周生さんの取組みについて書かれた文章を読み、強調構文や完了形の分詞構文、複合関係副詞、部分否定の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。 〈話すこと【やり取り】〉住み続けられるまちづくりのための取組みについて、情報や考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと【発表】〉住み続けられるまちづくりのための取組みについて、情報や考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。 〈書くこと〉住み続けられるまちづくりのための取組みについて、情報や考えを論理性に注意して複数の段落からなる文章で詳しく書いて伝える。	単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション
12	Lesson 8 Our Future with AI	Ifを使わない仮定法 仮定法過去完了 非制限用法，which as ifを使った仮定法	〈聞くこと〉AIと今後の将来について話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉AIとその活用について書かれた文章を読み、ifを使わない仮定法過去や仮定法過去完了、先行する節や文を受ける関係代名詞、as if を使った仮定法の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。 〈話すこと【やり取り】〉自分が考える「AIとともにある私たちの未来」について、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと【発表】〉自分が考える「AIとともにある私たちの未来」について、情報や考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。 〈書くこと〉自分が考える「AIとともにある私たちの未来」について、情報や考えを論理性に注意して複数の段落からなる文章で詳しく書いて伝える。	定期考査 スピーキングテスト 単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション
1	Optional Lesson 1 Language Change Over Time	言語・歴史 プレゼンテーション	〈聞くこと〉日本の社会問題について話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉時間とともに変化する言葉について書かれた文章から必要な情報を読み取り、要点や詳細を把握する。 〈話すこと【やり取り】〉自身が関心のある事柄について、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと【発表】〉自身が関心のある事柄について、情報や考えを論理性に注意して詳しく話して伝える。 〈書くこと〉自身が関心のある事柄について、情報や考えを論理性に注意して複数の段落からなる文章で詳しく書いて伝える。	単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション

2	Optional Lesson 2 Letters from the Battlefield	戦争・平和・ 家族愛 手紙	〈聞くこと〉手紙のやり取りについて話されている対話から必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉戦場からの手紙について書かれた文章から必要な情報を読み取り，要点や詳細を把握する。 〈話すこと【やり取り】〉自分が書いた手紙の内容について，情報や考え，気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと【発表】〉自分が書いた手紙の内容について，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝える。 〈書くこと〉自分にとって特別な人に伝えたいことについて，情報や考えを論理性に注意して複数の段落からなる文章で手紙を書いて伝える。	スピーキングテスト 単元テスト ペアトーク ワークシート提出 プレゼンテーション エッセーライティング
3	Reading 100 Voices from Denmark	探究活動 ディスカッション	〈読むこと〉デンマークでのフィールドワークについて書かれた文章から必要な情報を読み取り，要点や詳細を把握する。 〈話すこと【やり取り】〉公共の場でマスクの着用を義務付ける法律について賛成か反対か，情報や考えを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 〈書くこと〉「宿題は有益か?」「人々は肉食主義者になるべきか」「動物園は存在すべきか」のトピックについて，情報や考えを論理性に注意して複数の段落からなる文章で手紙を書いて伝える。	定期考査 ペアトーク プレゼンテーション

6 担当者からのメッセージ（学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

今年度もタブレットを活用して授業を進めていきます。「いつでも・どこでも」学習することができるようになりますので、時間を有効に使って学習に取り組みましょう。

普段の授業から「聞く」「話す」「読む」「書く」の4分野を総合的に評価していきます。授業への主体的な態度も評価の対象になりますので、失敗を恐れずに積極的に発言をしてください。また、英語は使えば使うほど上達していきます。授業中はもちろんのこと、授業外でも積極的に英語を使ってコミュニケーションをとってみましょう。

令和7年度 家庭科 家庭基礎

1 科目について

単位数	2 単位	学科・学年	2 年次普通科 スポーツ科学科
教科書	未来へつなぐ 家庭基礎 365 (教育図書)	副教材等	生活ハンドブック (第一学習社)

2 科目の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

3 観点の到達目標および評価の観点・方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【観点の到達目標】 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	【観点の到達目標】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	【観点の到達目標】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。
【イチカシ学カスタンダード】 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎を理解し、それらに係る技能が身につく。	【イチカシ学カスタンダード】 グループワークについて さまざまなグループワークを経験し、課題解決に向けて最適な手法を選択できる力を養う。	【イチカシ学カスタンダード】 授業に集中して取り組み、テーマごとの課題解決を目指す。 実習、ワークシートを通して、知識を整理する。 疑問に思ったことは質問するなど反復することで理解を深める。
【評価の方法】 ・定期考査 ・ワークシート ・作品 など	【評価の方法】 ・定期考査 ・ワークシート ・作品 ・グループワーク など	【評価の方法】 ・宿題 ・ワークシート ・作品 ・定期考査 ・グループワーク など

4 3観点を組み合わせた評価の方法

知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の 3 観点から規準に従い、総合的に評価する。

5 学習の計画

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価方法
4	単元名 A 編 第1章 生涯の生活設計 I	【知・技】・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解している。 【思・判・表】・自らの目標を想定し、そのために必要なことやリスクについて考えている。 ・生活設計について自分の考えと人の考えを比較して意見を言うことができる。 【主】・生涯発達の視点で各ライフステージごとの発達課題に関心をもち、学習活動に取り組もうとしている。 ・人生の目標達成のために必要なことや考えられるリスクについて自ら調べようとしている。	ワークシート
5	A 編 第2章 青年期の自立と 家族・家庭	【知・技】・青年期の5つの自立について理解している。 ・生活に関わる法律の基本的な趣旨、家庭生活を支える社会制度について理解している。 【思・判・表】・生涯発達の視点から、青年期をどのように過ごすかについて、具体的に考え、意見をまとめたり、発表したりすることができる。 【主】・家族・家庭と社会との関わりに関心をもち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート グループワーク

6	B編 第1章 食生活と健康	【知・技】・日常用いられる食品の栄養素的特質、調理上の性質について科学的視点から理解している。 【思・判・表】・自身の食生活について、人と比較して意見を言うことができる。 【主】・栄養素や食品の知識を生かして、自分や家族の食生活を改善しようとしている。	ワークシート 実習 グループワーク
7	B編 第1章 食生活と健康	【知・技】・料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身に付け、効率よく調理することができる。 【思・判・表】・調理実習や実験、新聞や書籍、インターネットによる資料収集などを通して、食の安全や栄養素について、考えをまとめたり、発表したりすることができる。 【主】・調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図っている。	ワークシート 定期考査
9	A編 第4章 高齢期の生活と福祉	【知・技】・高齢者の心身の特徴について理解している。 ・高齢者の生活を支える制度や地域社会のしくみについて理解している。 ・認知症の特徴や対応方法を理解している。 【思・判・表】・高齢化が進む現状や高齢者を取り巻く社会について知り、その課題と改善について新聞や書籍、インターネットなどを活用して調査したり発表したりすることができる。 【主】・高齢者に対する福祉の現状を理解し、高齢期の生活を支えるしくみについて考えようとしている。	ワークシート グループワーク 実習 宿題
10	A編 第5章 共生社会と福祉 B編 第1章 食生活と健康	【知・技】・共生社会の重要性を知り、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインなどの理念を理解している。 ・社会保障制度や公的年金制度について理解している。 ・料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身に付け、効率よく調理することができる。 【思・判・表】・身の回りのバリアフリーやユニバーサルデザインを調べ、まとめたり発表したりすることができる。 ・調理実習や実験、新聞や書籍、インターネットによる資料収集などを通して、食の安全や栄養素について、考えをまとめたり、発表したりすることができる。 【主】・地域社会の一員として、個人や集団がどのようにつながり、支え合っていくか、考えようとしている。 ・調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図っている。	ワークシート グループワーク 実習
11	C編 第1章 生活における経済の計画 C編 第2章 消費生活と意思決定	【知・技】・三者間契約など、さまざまな契約のしくみや、未成年と成年の法律上の違いについて理解している。 ・契約や消費者信用、多重債務などの問題について具体的に認識し、消費者として適切な判断ができる。 【思・判・表】・消費者問題について調べ、被害防止や救済について、具体的な事例を通して考え、まとめたり、発表したりすることができる。 【主】・家計の構造、家計における収支バランスや計画性にとどまらず、将来にわたるリスクを想定して、不測の事態に備えた貯蓄や金融商品の活用などの資金計画について関心をもっている。	ワークシート グループワーク 実習
12	C編 第2章 消費生活と意思決定	【知・技】・金融商品とその特徴について理解している。 【思・判・表】・将来必要になる費用や資産形成について考えたり、発表したりすることができる。 【主】・消費行動への意思決定には様々な要因があることを理解し、自身の消費行動として具体的に考えようとしている。	ワークシート 定期考査
1	C編 第2章 消費生活と意思決定	【知・技】・現金とキャッシュレスのしくみの違いについて理解している。 【思・判・表】・さまざまな金融商品のメリットとデメリットについて具体的に調べ、発表することができる。 【主】・家計の構造、家計における収支バランスや計画性にとどまらず、将来にわたるリスクを想定して、不測の事態に備えた貯蓄や金融商品の活用などの資金計画について関心をもっている。	ワークシート グループワーク
2	B編 第1章 食生活と健康	【知・技】・食品の表示の意味を理解している。 【思・判・表】・食品の表示を理解し、購入時の判断材料とすることができる。 【主】・実生活で食品の表示を見て活用しようとしている。	ワークシート グループワーク 実習
3	B編 第1章 食生活と健康	【知・技】・料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身に付け、効率よく調理することができる。 【思・判・表】・調理の安全や衛生について具体的に考えている。 【主】・調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図っている。	ワークシート グループワーク 実習 定期考査

担当者からのメッセージ(資質能力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

学習の中で習得した知識や技術を日常生活の中に活かすことで、より主体的な高校生活が送れることを期待します。

また、1年間の学習を通して、自らの生活の中で課題を発見し、改善していく力を身につけてほしいと思います。